

## 会 議 録

会議の名称	第2回白岡市総合振興計画審議会
開催日	令和7年11月11日（火）
開催時間	午後3時から午後4時25分まで
開催場所	白岡市中央公民館
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	江原勝義、嶋田和也、寺井堅一、中村将大、三上尚子、進藤貴一、仁木俊夫、 真鍋陸太郎、廣瀬秀男、弓木裕一、進藤悟、森田茂、松井直紀、澤田貴樹 14人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	岸幹夫 1人
説明員の職・氏名	経営企画部長 神田正 企画政策課長 小林知史、課長補佐 中野立士、主査 吉野大輔、 主任 杉寄晃洋
事務局職員の職・ 氏名	経営企画部長 神田正 企画政策課長 小林知史、課長補佐 中野立士、主査 吉野大輔、 主任 杉寄晃洋
その他会議出席者 の職・氏名	株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング 横山徹
傍聴者数	5人
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 （1）第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けた基礎調査について （2）第6次白岡市総合振興計画前期基本計画の検証結果について 4 その他 5 閉会
配布資料	第2回白岡市総合振興計画審議会 次第 第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けた基礎調査について 第6次白岡市総合振興計画前期基本計画の検証結果について

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会 事務局の司会進行により開会する。</p>
真鍋会長	<p>2 挨拶 真鍋会長が挨拶する。</p>
真鍋会長	<p>3 議題 (1) 第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けた基礎調査について</p>
事務局	<p>議題(1)「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けた基礎調査について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題(1)「第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けた基礎調査について」を説明する。</p>
真鍋会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
A委員	<p>2ページ「県内有数の埼玉梨の主産地」とあるが、こういった意味合いでこの文章になったのでしょうか。</p>
事務局	<p>近年は梨農家の数も減少していますが、過去には埼玉県内でも有数の梨の産地であり、「白岡美人」という愛称でも親しまれていることもあり、梨の主産地として記載した次第です。</p>
A委員	<p>年々、梨農家が減少し、出荷数も減っています。今後のことを考えると、現状からみて県内有数の埼玉梨の主産地というのはどうでしょうか。</p>

真鍋会長	梨に特化したデータはとっていますか。
事務局	梨に特化したデータはありませんが、24ページに、農業産出額等を整理しています。果実について平成30年と令和5年で半減しています。しかしながら、市としては白岡市の梨を途絶えさせたくない、農業生産法人化や農地の集約化などを通じた大規模な梨の栽培等、支援していく方向です。
A委員	今後、イチゴノオカでイチゴの生産が盛んになっていくのかなと思います。梨のこともしっかり捉えて頂きたいという意見です。
真鍋会長	基礎調査にて、白岡といえば梨というものもありますが、梨の栽培についてしっかり書き込むべきというご意見と承りました。
B委員	2ページ、白岡市は利便性が良いという捉え方ですが。広域交通と言う面からの捉え方としてはよいと思いますが、駅周辺からちょっと外れると、高齢化も進み、利便性が良いとは捉えられない地域が多いです。これについてご意見をうかがいたい。
真鍋会長	いかがですか。そういった分析は入っていないようですが。
事務局	市域が東西に長いので、駅から離れている地域の交通環境については、利便性が低い面があるかもしれません。高齢化により、車の移動が困難になった場合の利便性低下を懸念されたご発言と思います。国道や県道が多い、圏央道が通っているという広域的な視点でここでは書いております。ご意見ありがとうございます。
B委員	住民目線に立った、市内の交通環境についての記述も欲しいと思います。

真鍋会長	<p>私の意見では、交通ではという大きな段落をつけているのに、広域的な利便性の記述しかなく、地域内の交通は課題が多いことについての記述がないように思います。調査項目の中に地域交通に関する調査もないようです。そのようにした理由はありますか。</p>
事務局	<p>総合振興計画は広い行政分野を対象としているので、今回の基礎調査では、大枠の視点から、統計指標に着眼し整理しています。市内の交通環境については、個別の施策の検証等でみていきます。</p>
真鍋会長	<p>個別計画もあるでしょうが、市の最上位計画ですので、こちらも抜けないようにお願いします。</p>
C委員	<p>13ページ、汚水処理人口普及率とはどういうものかと、算出方法と、どういう評価なのか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>汚水処理人口普及率は、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽など下水処理を利用できる人の数を、人口で割ったものです。</p>
真鍋会長	<p>汚水処理人口普及率が低いというのは、どういった状況ですか。</p>
事務局	<p>公共下水道の整備率については現在80%を超えていますが、公共下水道など下水処理を利用できる人がまだ少ない、という要因もあるかもしれません。合併処理浄化槽と単独浄化槽がありますが、合併処理浄化槽の普及状況も関連しているものと思われます。なお、前期基本計画では指標としていません。</p>
真鍋会長	<p>汚水処理人口普及率は低いということなので、対策をしたほうが良いと思います。</p>

D委員	24ページ、農家数や農業従事者数は減少、しかし農業産出額は増加しているのは、作物の転換によるものでしょうか。それとも、法人化等によるものでしょうか。
事務局	農業生産法人が参入しています。農業の大規模化、法人化が進んでいます。そういった影響も大きいと考えています。
真鍋会長	農業のあり方に関しては、現行の計画にはどう書いていますか。法人化が望ましいのでしょうか。地域としてはどう考えるか、方向性が議論できると良いですね。
事務局	前期基本計画では、法人化の支援等記載しています。一方で、新規就農者への給付金や現在ある農家への支援等も書いています。
真鍋会長	もう書かれていますね。
E委員	6ページ、人口は白岡市だけが増えている状況ですが、こういった数値になっていることをどのように分析していますか。
事務局	白岡駅、新白岡駅を中心に市街地が形成され、良好な住宅環境があり、駅近に持ち家が持ちやすく、子育て世代が流入しています。白岡駅周辺では土地区画整理事業を進めており、市街化区域内の農地の宅地化も進んで、住宅供給が増えていることも要因として考えられます。。
真鍋会長	社会増の数字には、今後も進んでいく白岡駅の土地区画整理事業の効果は入っていないのですね。
事務局	はい。今後、更に効果が出てくると思われれます。

真鍋会長	<p>市の計画を考える際に、地域ごとの流入人口のデータがあればよいですね。さて、今日はこの後、前期基本計画の検証結果についての議論もありますので、次に移ります。</p> <p>(2) 第6次白岡市総合振興計画前期基本計画の検証結果について</p>
真鍋会長	<p>それでは、次に、議題(2)「第6次白岡市総合振興計画前期基本計画の検証結果について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題(2)「第6次白岡市総合振興計画前期基本計画の検証結果について」を説明する。</p>
真鍋会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
F委員	<p>34ページ、合計特殊出生率についてです。児童福祉審議会では、どんなに保育所整備や子育て施策を頑張っても、合計特殊出生率を上げることは成果指標として適切とは思えないことから、合計特殊出生率という成果指標はカットしてほしいという話になりました。例えば茨城県の境町のような圧倒的な住宅政策・子育て政策のような強力なものがないと、合計特殊出生率を上げて少子化に対応するのは難しいと思います。</p> <p>他市と比べ白岡市はまだよい部類という話もありましたが、10年間でこれだけ落ちているのは危機的だと思います。もっと横断的で強力な政策がないといけません。オープンな議論の場が大切で、一番まずいのは何の政策もなく、数字だけがあるという状況です。今、答えが欲しいわけではなく審議会での議論への投げかけです。</p> <p>もう1つ、要介護審査会の全体のあり方について、専門職の方にもっと入って頂くことを考えられませんか。ブラックボックスをつくってはいけないと思います。</p>

真鍋会長	<p>検証結果と言うより、今後の市の施策に対するご意見ですか。</p>
F委員	<p>市だけでなく、全体の仕組みづくりについての投げかけです。</p>
真鍋会長	<p>合計特殊出生率は全国と比較できる指標である一方、子どもを産んでくれる子育て世代が増えないと上がらない指標です。市の指標としては難しいので、これを上げようとする横断的な施策はあるのかという投げかけですね。</p>
事務局	<p>国の地方創生では、10年前は人口減少の克服を強く打ち出し、出生率を上げていこうというのが大きなテーマでしたが、今般の地方創生2.0では人口減少を受け止め、人口減少の中でどうやって人が幸せになれるか、どう経済成長できるかが大きなテーマとなっています。</p> <p>国の動向を踏まえながら、指標を合計特殊出生率のままとして人口減少を克服していくのか、どうなのか、改めて見直して検討していきます。</p>
G委員	<p>13ページ「民生委員児童委員の不足」の課題のところ、今後の方向性には「活動支援」とありますが、白岡市の場合、12月の委員改選で20人くらい不足します。担い手不足の解消に向けた今後の方向性が「活動支援」ということで、取組がぼやけているのではないかと感じます。</p> <p>次に35ページ、保育所の増設のところ、待機児童数15人に対し150人の定員と読めますが、どう考えればいいでしょうか。多機能化する等、どのような機能を考えていらっしゃいますか。</p> <p>次に41ページ、教育の学校規模の適正化のところ、この3月に136年続いた小学校が廃校になりましたが、そのことはどこにも書いていません。この総合振興計画は市の最上位計画ですので、書いていないことが実行されているのはどういうことですか。</p>

事務局	<p>今後の方向性が課題とマッチしていない、というご指摘かと思えます。なかなか、ピンポイントの対策がないので、このような表現になっています。深刻な問題なので、施策立案の段階でもう一步踏み込んで検討したいと考えています。</p> <p>2点目の保育所、待機児童15人に対して定員150名を目指していますが、公立保育園の老朽化もあり、民間に大きな受け皿を作っておくことが課題意識としてあります。今後の事業推計に基づき設置することとなっているので、保育園の誘致を進めていきます。期待する機能までは、今ここでお答えできなくてすみません。</p> <p>3点目、大山小学校の閉校につきましては、総合振興計画への位置付けがないというご指摘でしたが、現行計画においても学校規模の適正化を視野に入れた改修等を実施すると記載しています。具体的なことまでは書いていませんが、大山小学校の廃校の背景には児童数の急激な減少がありました。児童のためにどういった環境が良いかと、市としても苦渋の決断でありました。学校規模の適正化計画は現在策定中です。なお、市役所の火災もあり、大山小学校の跡地は、現在、大山庁舎として活用させていただいています。</p>
G委員	<p>総合振興計画に書いていないことは出来ない、という認識でした。「適正化を視野に入れた改修」という表現で廃校に出来るというのは違いませんか。児童数が突然、急激に減った訳ではないです。総合振興計画でもっと早くから検証できなかったのでしょうか。136年も続いた学校が1年で廃校に至った。地域の方は納得していません。廃校自体が問題ではなく、廃校に至る経緯が問題です。廃校してから適正化計画の審議をする、ではおかしいです。</p>
真鍋会長	<p>政策目標の3の4、児童生徒の教育環境を整えます、のところに、廃校のことが書いていないのがおかしいということかと思えます。前期計画の検証として、数字だけの問題ではなく、主な進捗状況のところ、廃校についても書いておくべきでしょうね。</p>

事務局	<p>ご指摘は、全くそのとおりだと思います。適正化計画については、教育委員会にて2か年かけ検討しています。そちらの計画策定の進捗状況を踏まえて、総合振興計画に反映していきたいと思えます。</p>
真鍋会長	<p>基礎調査報告書や、前期の検証結果は公表されるものですか。</p>
事務局	<p>公表させていただきます。</p>
真鍋会長	<p>それでは、検証結果に話題になった廃校のことは触れるか検討していただければと思います。保育所も、社会増減と関係するので、もう少し上手い表現をしたほうが良いと思います。</p>
H委員	<p>53ページ、土地利用ゾーンの見直しのところで、産業系の12号の区域指定とはどういったことですか。次のページにもありますが、具体的に教えてください。</p>
事務局	<p>現行計画の土地利用構想図をご参照ください。市街化区域（黄色）は開発を誘導していく地域となっています。一方で市街化調整区域（薄緑）は基本的に開発を抑制する区域となっておりますが、一定の条件が合えば開発が許容される区域です。総合振興計画の土地利用構想上の位置付けが最も重要になります。</p> <p>菁莪地域でいえば、スーパー等が産業系12号区域の指定で立地したものになります。そのほかの地域も物流施設などが、市街化調整区域でも都市計画が一部認められる開発をしている状況です。今後も乱開発とならない範囲で、商工業の立地を可能にする土地利用をする趣旨となっています。</p>
真鍋会長	<p>公開資料となるので、12号の区域指定の補足説明をお願いします。また、54ページは成果ですので、地区名を書いたほうが親切</p>

A委員	<p>ですね。一方で、53ページは課題部分ですので、書きにくければ書かなくてもよいですが、土地利用の図をこの後も出すのであれば、書いてあった方が分かりやすいと思います。</p> <p>市街化調整区域では高齢化と人口減少が進み、人口増加は難しいとは思いますが。住んでいる人々を脇において、どうなのかなと疑問です。開発の可能性はあるとのことでしたので、そこに住み続けることができるような、居住区域の開発も緩やかに見て頂けるような政策があると、地域活性化につながると思います。市街化調整区域も踏まえての政策も考えていただければ幸いです。</p>
事務局	<p>国がコンパクトシティという政策を進めていますが、市街化調整区域に住む方の住環境も当然に考える必要があります。生活利便性を享受でき、引き続き住み続けられるようなまちづくりは、今後必要だと考えています。</p>
A委員	<p>今に始まったことではないですが、誰もが住み続けられるまちづくりをお願いいたします。</p>
真鍋会長	<p>市街化調整区域においてどういったまちを目指すかは難しい問題で、市街化調整区域の開発を進めるのは違う、と国の方針では謳っています。そこに住まう人々の暮らしをどう上手く書くかは非常に難しいのですが、豊かな農業があるというのも白岡の特徴なので、その中での暮らしという書き方をしていくのが良いと思います。</p>
I委員	<p>農業の話が出ましたが、息子が20歳のときに農業をやりたいと言いました。土地があるわけでも、農家の息子でもないのですが、相談窓口があり、志を持った若者を活かしていける白岡市であって欲しい、と思います。</p>

事務局	<p>現在も農政課で新規就農者に対する相談や、定着するための所得確保を目的とした給付を行っています。今後も若い方が新規参入し、就農していただける環境をつくっていききたいと思います。</p>
真鍋会長	<p>検証の中で、市民に、市の施策が伝わっていない気がしました。SNSの登録者数が目標値を達成したということだけではなく、定性的に見た横断的な読み取り結果も加えていただくと、よろしいかと思えます。そうすればせっかく行った検証結果も意味をなすのではないかと思えます。他にご意見はございませんか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>以上をもちまして、本日の議題は、すべて終了いたしました。委員の皆様方の御協力に感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回の開催日程は、令和8年3月19日(木)、午後2時から開催いたします。</p> <p>議題は土地利用基本構想、人口フレームを予定しています。</p>
真鍋会長	<p>今日の検討結果はフィードバックされますか。</p>
事務局	<p>次回の基本構想の話。それ以降、基本計画の説明の中で、今回の会議を踏まえてどう検討したかを説明していきます。</p> <p>5 閉会</p> <p>以上で、閉会いたします。</p>